

【環境】 二酸化炭素排出削減**エネルギー関連の CO₂ 排出量が 2008 年に 2.8%減少 (米国)**

米国エネルギー省 (Department of Energy: DOE) のエネルギー情報局 (Energy Information Administration: EIA) の速報値によれば、米国の国内総生産 (Gross Domestic Product: GDP) は 2008 年に 1.1% 成長したにも拘わらず、化石燃料からの二酸化炭素 (CO₂) 排出量は 2.8% 減少したとのことである。この記録的な減少の一部は、運輸部門からの排出量が 5.2% 減少したことによる。年前半の燃料価格の暴騰や第 4 四半期の不況により、自動車での移動距離が劇的に減って公共交通機関の利用が大幅に伸びたことも、CO₂ 排出減少に寄与した。EIA によれば、過去 5 年減少傾向にあった工業部門からの CO₂ 排出も 3.2% 減少した。なお、2008 年の工業部門全体の生産量は 2.2% の減少で、エネルギー多消費産業 (化学、第一次金属、非金属鉱物など) の生産減少幅はより大きく、5.8%~7.8% であった。

運輸部門および工業部門におけるエネルギー使用量の減少が CO₂ 排出削減に一部寄与したものの、それが全てではない。EIA によれば、米国のエネルギー需要は 2008 年に 2.2% 減少した。この数字は 2.8% という CO₂ 排出減少率には及ばない。このことはエネルギーの一部が、CO₂ 排出量のより少ないエネルギー源へシフトしたことを意味している。実際、米国の CO₂ 排出の 41% を占める電力部門では、2008 年の発電量は 1% 減少したが、CO₂ 排出量は 2.1% 減少した。発電所における全ての化石燃料使用量の削減や風力発電の増加が排出の軽減に寄与したと、EIA はみている。

詳細は EIA のプレスリリース^{注1}および速報^{注2}を参照されたい。

翻訳：吉野 晴美

出典：U.S. Energy-Related Carbon Dioxide Emissions Declined 2.8% in 2008
(http://www1.eere.energy.gov/vehiclesandfuels/news/news_detail.html?news_id=12538)

^{注1} U.S. Energy-Related Carbon Dioxide Emissions Declined by 2.8 Percent in 2008, 20 May 2009 (<http://www.eia.doe.gov/neic/press/press318.html>)

^{注2} U.S. Carbon Dioxide Emissions from Energy Sources 2008 Flash Estimate (<http://www.eia.doe.gov/oiaf/1605/flash/flash.html>)